

< 編集・発行先 >

2004年 5月15日 (土) 発行

〒530-0035 大阪府大阪市北区同心1-5-27

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 気付

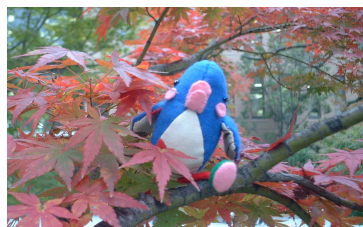
「児童支援派遣ステーションつばさ」

e-mail: tsubasa_piyopiyo@hotmail.com

問い合わせ・連絡は、郵便・Eメールのみの受付となっています。

児童支援派遣ステーションつばさ機関紙

はばたき (第4号)



(今年は、外にも出かけるびい～！)

<この春、「つばさ」がリニューアル！>

ご意見をいただいた、PRを含め、「つばさ」の事業内容を確認する場をつくりました

パソコン用HPは <http://www.geocities.co.jp/SweetHome-Green/1390/>

携帯電話用HPは http://mobile.geocities.co.jp/tsubasa_piiko/

(携帯の機種によっては正しく表示されない場合あり)

早いもので、「児童支援派遣ステーションつばさ」(以下、つばさと省略)の事業(活動)も、いよいよ「4年目」に突入することになりました。もちろん予想はしていたものの、団体自体の規模は小さくても、メンバーも事業内容も時間とともに変わってきています。2003年は、ある意味、そんな「変化」や「時の流れ」に対して、中心スタッフと新メンバーが、いろいろと「試行錯誤していた1年」だったような気がします。

そこで、2004年度の新スタッフ体制で、事業内容を整理してみました。あえて、この場に掲載させていただきます。対象とする年齢層も、「児童」と呼ばれる年齢層から、「10代～20代」と言うように、年齢層に幅を持たせているのがポイントです。

<新しい、「つばさ」の活動内容(趣旨)>

主に不安や悩みを抱えている児童や生徒(一部は25歳未満の者)に対し、家庭・地域・学校の中間的な存在として、「不登校やひきこもりの予防」の観点も含め、「不登校やひきこもり」の有無を問わず、様々な出会いから「社会参加への第一歩」を見出せる場に、更に「経験者だからわかるコト」から、もう1歩、踏み込んだ視点で、社会福祉分野の有資格者や不登校体験者などを含むスタッフを中心となって、各種専門スタッフと連携をとりながら、児童や生徒と、家庭への総合的な支援活動をしています。

また、「くつろぎ」の場から社会参加の場を、中心スタッフと一緒に、様々な体験や出会いをもとに少しずつ模索していく機会を定期的に用意し、教科書などでは学ぶ事のできない色々な体験をすることにより、広い意味での「社会参加」を支援する活動をしています。

私たち子どもの将来的な目標は、「大阪のくつろぎステーション化計画」です。「つばさのスタッフと話をしたら落ちついたわぁ～」と言われるような、気軽に参加できるような内容を、様々な出会いを通して創っていきたい…。そんな、「つばさ」の活動を、少しずつでも暖かい雰囲気の中で築き上げていこうとするのがスタッフ全員の願いです。

今年度は、1年間かけて試験的に行ってきた「くつろぎ隊サポート事業」に関する取り組みを、事業内容の中心におき、そこから様々な活動を展開させていくことを目標にしています。これは、共通して言えることですが、「つばさ」の活動は、「くつろぐ」と言うキーワードを軸にして行っていきます。もちろん、今までどおり、「シンポジウムのパネラー」も「事業内容に関連する内容の講師」も「執筆活動」も「簡単なイベント主催」もしていきます。と言うわけで、「つばさ」のスタッフは「くつろぎを大切にしたいオールラウンドプレイヤー」と言えばカタイ雰囲気がするので、「くつろぎを大切にしたい・(気軽な?)よろず屋」を目指していきたいと思っていますので、今後とも、「つばさ」の事業(活動)に、ご協力・ご支援のほど、よろしくお願ひします。

児童支援派遣ステーション「つばさ」 スタッフ一同

なお、私どもの活動は、原則として、NPO法人取得を目指している「有償ボランティア活動(事業)」です！